

## 銅沼

銅沼は、1888年の磐梯山の噴火と山体崩壊で形成された赤褐色をした馬蹄型の火口湖です。銅沼は、現在は非活火山になった北側山腹の森に囲まれたカルデラの中にあります。

水酸化鉄の含有度が高いので、湖水は銅赤色をしています。酸性度が高すぎて水生生物は生息できません。磐梯山の山腹にある噴気孔という無数の裂け目から、ガスが立ち上る光景が銅沼から見ることができます。

銅沼は標高1,000メートル以上の高所にあります。地質学者によれば、銅沼の湖水が地面に染み透り、より低い場所の水源となって湧き出し、300メートルほど下方にある色彩豊かな五色沼湖沼群に流れ込みます。銅沼と発音が同じ赤沼もその一つです。さまざまな分量の鉱物が湖沼群に流入するので、流入先の湖の色や酸性度や生態系には違いがあります。銅沼が氷結すると硫黄の色を反映して金色に輝く氷の滝「イエローフォール」が姿を現します。安全なルートを案内してくれるガイドを同伴しましょう。